

会議録

会議名	嵐山町総合戦略策定委員会(第1回)					
開催日時	平成27年6月29日(月)			開 会	13時30分	
				閉 会	15時00分	
開催場所	嵐山町役場 町民ホール					
会議次第	1 開会 2 任命書交付 3 町長あいさつ 4 委員紹介、事務局紹介 5 議題 (1)会長及び副会長の専任について (2)会議録の署名人の任命について (3)まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたって (4)嵐山町総合戦略策定委員会スケジュール(案)について (5)その他 6 閉会					
公開・非公開の別	公開			傍聴者数	1名	
非公開の理由						
委員出欠状況	会 長	内田 方巳	出	委 員	清水 正幸 代理 小川 良三	出
	副会長	新井 茂	出	委 員	佐藤 浩二 代理 宮下 洋介	出
	委 員	根岸 福壽	出	委 員	鹿倉 貞二 代理 武田 聡美	出
	委 員	小林 莊治	出	委 員	荒井 忠正	出
	委 員	根岸 美津子	出	委 員	内田 裕一	出
	委 員	鈴木 浩	出	委 員	青木 裕子	出
	委 員	内田 奈芳美	出	委 員	宮本 紀子	出
	委 員	山田 朋美	欠	委 員	伊藤 浩次	出
	委 員	山田 滋之	出	委 員	田中 操	出
	岩澤町長					
事務局	担当課長 青木					
	担当副課長 伊藤					
	担当主査 松浦					
	(株)サービスセンター 板倉					

次 第	顛末
1 開会	青木課長
2 任命書交付	町長より任命書を交付
3 町長あいさつ	<p>(岩澤町長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日はお忙しい中ご出席いただき有難うございます。現在、日本中で地方版総合戦略の策定に向けて、各自治体で知恵を絞っている状況です。嵐山町でも職員を総動員し、関係団体と連携して進めておりますが、非常に苦戦しているところでございます。そういう中で今回総合戦略策定委員会ということで皆様にお集まりいただきました。各界専門家の方からお集まりいただき、それぞれの知識と経験に基づいたご意見が頂けるものと期待しております。 ・ 今、日本では人口減少、高齢少子化が進んでおります。国の方でも人口減少を問題として、人口減少を1億人で食い止めるために総合戦略の策定を進めているところでございます。 ・ その中で嵐山町におきましては、商工会、観光協会、農業関係者等の皆様にお集まりいただきヒアリングを行い、その他の状況については各担当課より情報を集約している状況でございます。 ・ これまでの国の政策というのは「再生」という言葉を使い、昔からあるものをもう一度活かすというものでしたが、今回は「創生」ということで、今までとは違った視点で全く新しいものを作り出して下さいというのが今回の総合戦略です。また、この計画というのは、近くでは5年、先は50年先の町の方向性を決める政策を決めるよう国や県からの指導を頂いております。 ・ さて、デービッド・アトキンソン氏の「イギリス人アナリストだからわかった日本の強み、弱み」という著書によりますと、日本人は都合の良いことをくっつけて、単純に話をまとめて結論につなげてしまう傾向があるが、そういうことではなく、色んな数字を基に考えなければいけないということが書かれております。 ・ 日本のGDPは高度成長期に大変伸びて、世界2位になったが、実は、一人当たりの国民総生産を足していくと人数の多いところはGDPが多くなります。日本は戦後に人口が爆発的に増えたから2位になったのです。しかし、国民の個人所得だと7～8番という状況です。ヨーロッパではGDPが人口順になっています。 ・ それから和食ブームということで日本文化が知られていますが、そういったものも数字で確認すると、都内にあるヨーロッパ風料理店をネットで調べると5,618店ありますが、それを東京都の人口で割

	<p>ると 3,980 人になります。ヨーロッパにある和食店は 5,500 店あり、ヨーロッパの人口 7 億で割ると一店舗あたり 134,000 人となっていて、まだまだ日本食というのは広まっていない状況が数字で見ると分かります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、和食というのはヘルシーで旬の食材を使い、盛り付けも繊細であるというのが和食人気のポイントであると言われていますが、欧米での和食人気のポイントをネット上で検索すると、1 位はヘルシー、2 位は消化に良い、3 位は洗う食器が少ないという、こちらでは考えていなかったことが数字で表され、数字に重きを置かなければいけないということが書いてあります。 ・他にもオリンピック開催が日本に決定した要因は、「お・も・て・な・し」というスピーチが良かったからだと言われているのですが、ヨーロッパで言われているのは、トルコは政治的不安、マドリッドは財政的不安があり、東京にはそのような不安材料が少ないからであり、スピーチが良かったからではないということが書かれています。 ・日本の外と中とでは認識の差があり、やはり私たちも何か間違っていて、そのようなものだと思っていることがあるとしたら、原点に戻って、頭の中に叩き込んで考えていくことも必要ではないかと思えます。 ・皆様方には忌憚のないご意見を出して頂き、嵐山町の素晴らしい方向を示す計画が作れるようにして頂きたいと思えます。
<p>4 委員紹介、事務局紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員より自己紹介を行った。 ・事務局の紹介を行った。
<p>5 議題</p>	<p>(1)会長及び副会長の選任について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議長が決定するまでの間、町長が議事の進行を行う。 ・町長より議長の互選を諮る。 <p>(選出及び立候補等なし。小林委員より副案の提示を求められる。)</p> <p>(岩澤町長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回が初めてということで、事務局に副案があるとのこと。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局案として会長には内田方巳氏、副会長には新井茂氏にお願いしたいと考えております。 <p>(岩澤町長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局としてはこのように考えておりますが如何でしょうか。御承認頂けますか。(一異議なし) それでは、会長と副会長には席を移って頂き、ご挨拶をお願いします。

- ・内田会長より挨拶及び新井副会長より挨拶を行った。

(2)会議録の署名人の任命について

- ・内田会長が議長となり、議事の進行を行うこととなった。
- ・内田会長より根岸福壽委員と小林荘治委員を議事録署名人に指名した。

(3)まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたって

- ・事務局より説明を行った。
- ・会長より質疑を求める。
(質疑等なし)
- ・会長が質疑なしと認め、次の議題へ進行が行われた。

(4)嵐山町総合戦略策定委員会スケジュール(案)について

- ・事務局より説明を行った。
- ・会長より質疑を求める。
(質疑等なし)
- ・会長が質疑なしと認め、次の議題へ進行が行われた。

(5)その他

(事務局)

- ・資料につきましては約1週間前までに送付させていただきます。

(内田会長)

- ・ありがとうございました。非常に難しい問題です。このまま手を打たなければ高齢少子化はますます進んでしまいます。良い方向に向かうべく斬新なアイデア、発想の転換も含めまして皆さんの英知を集めて結論に持っていきたいと思います。次の会議につきましても、どうぞ宜しくお願い致します。

(事務局)

- ・ありがとうございました。本日の議題につきましてはこれにて終了させて頂きました。期間の無い中での策定となりまして、皆様方にはご苦勞・ご負担になるかと思いますが、今後とも宜しくお願い致します。第2回は本格的な議論になるかと思いますが、次回は7月24日を予定しておりますので、ぜひともご協力をお願いしたいと思います。

(内田裕委員)

- ・ちょっとよろしいでしょうか。少し一方的な感じを受けました。総合戦略策定委員として集まっているわけですから、皆さんそれぞれの分野の活動を通じた考えを持ってきていると思います。これで本日は終わりとなると変な感じがします。
- ・私は、こういうことというのは国が決めたものを押し付けるというイメージを持っていたので、アンケートをとるのはすごく良いと思いました。アンケートを全町民対象に行うのはどうでしょうか。集計するのは大変だと思いますが、アンケート対象外の方は地方創生のことを知らない人も多いと思います。広く意見を聞いてみて、自分達で町を作っていくという気持ちを持てるように、アンケートを活かして頂けたらと思います。
- ・ちなみに、どのようなアンケートなのでしょう。また、アンケートはまだ送っていないのでしょうか。

(事務局)

- ・すでに発送しております。アンケートにつきましては3種類の調査を5月下旬から6月上旬にかけて実施しております。1つは町民18歳以上の2,000人を対象に、居住や職業、結婚や出産についてのアンケート。もう1つは進路希望のアンケートを16～22歳の方に限定して町民500人に郵送で行っております。既に回答を頂いており、委託業者の方に集計をお願いしているところです。3つ目は現在、町外の方1,000人に対してwebアンケートを実施しているところです。嵐山町に対してのイメージや、居住について聞いています。3つのアンケート結果につきまして、7月の会議の時にご報告し、皆様からご意見を頂きたいと思っております。
- ・本来であればアンケートの原案を皆様にお示しさせて頂き、ご意見を頂くところですが、今回の総合戦略策定は大変期間が無い中で行っておりまして、出来ることは先行して行っていないとスケジュール的に厳しいことから、事務局で先行して行わせていただきました。御理解頂きたいと思います。郵送のアンケート2種類につきましては皆様にお配りさせていただきます。

(まち・ひと・しごと、進路希望アンケートを各委員に配布)

(荒井委員)

- ・このような審議会の時には事務局で案を示し、それに対してご意見を言って頂くという進め方が一般的です。最初から意見をポンポン話すのではなく、基礎資料を分析する中で意見述べることになると思います。

(青木委員)

・このような資料が前もって送られてきたということは、きちんと目を通して、何か意見を持っていたらそれを発信する場があると思って来ました。説明だけで終わるのであれば、事前に配布するようなものでないと思います。先ほどの意見はもっともだと感じました。

(内田会長)

・私の議事の進め方が悪かったのかもしれませんが。こういう資料を基に進めたいということで説明だけが先行してしまいました。次回からは事前に資料をお送りしたものを、皆さんで意見を持ち寄って検討して頂きたいと考えております。

(事務局)

・まち・ひと・しごとアンケートにつきましては2,000人を抽出いたしました。嵐山町の人口約18,000人規模で、2,000人というのは多い方だと思います。国でも数千人程度でアンケート調査を行っています。

・進路希望のアンケートではきわどい質問をぶつけていますので、第2回の会議でお示ししたいと思います。

(内田裕委員)

・企業でもアンケートを活用しているところがあり、貴重な意見の発掘というのもアンケートの利点だと思います。

(宮本委員)

・資料の「国と地方における人口ビジョン・総合戦略の構成（イメージ）」の図のところでは都道府県・市町村の具体的施策の中身が空欄となっておりますが、その部分について、各分野の方から最初に広く意見を聞いて、嵐山町ではどのようにするのか固めていく委員会だと理解していました。町の提案したことに対して、是非を決めていく会議なのでしょうか。私は委員に選出されたことに責任を持ち、自分の立場からどういうことが発信できるのかという思いで参加しています。また、多くの委員さんがそうだと思います。

(伊藤委員)

・私もここに来るにあたって、意見を持ってきましたが、このまま終わったら消化不良だと思います。

(宮本委員)

・事務局の提案があれば、各界の人からそれについて意見を聞かないと、具体的な施策は生まれません。嵐山町においていろんな分野の方達ですから、現実をよく把握し、今までやってきた知識や経験を活かし、新しいものを作るという考えを持って参加していると思います。最初の会議のたたき台として、各分野の人たちの意

見を聞くというのが第1回だと思います。

(清水委員代理小川氏)

- ・私も委員として色々な意見を持って参加していますが、町民の民意がどうなのか見えていないで、自分の意見だけを述べても自分だけの主張に留まってしまいます。アンケートをベースに吸い上げたものを拝見して、自分の考えと民意に大きな隔たりがあるか確認しながら、意見を出していくものだと考えております。

(岩澤町長)

- ・多くのご意見ありがとうございます。会の進め方、資料の出し方、話しの聞き方についてこちらの配慮が欠けている部分もあったかと思えます。しかし日程が差し迫っており、政府が来年度に向けて予算を作るので、嵐山としても手を上げられるように早く進めていきたいという考えを持っています。
- ・各種団体や各担当課の意見を集約しながら、同時にアンケートを集計、検討を行いながらの作業となり、大変過密なスケジュールで進めてなければならないということをご理解頂いて、この総合戦略策定が上手く進めていけるようにご協力頂きたいと思えます。
- ・提供した資料も国が示したもので、新聞やテレビで流れているものとそっくりそのままでございます。今度は嵐山町の数値が入ったものを出させていただきますので、ご検討頂きたいと思えます。是非ご了承いただきたいと思えます。

(内田奈委員)

- ・資料の「国と地方における人口ビジョン・総合戦略の構成（イメージ）」の図のところ、総合戦略は右側、人口ビジョンは左側にあります。スケジュールにおいては、人口ビジョンが確定した後に総合戦略策定という流れになっておりますが、国が示したイメージ図では、総合戦略から人口ビジョンに向かって矢印があります。総合戦略が先あって、その後に人口ビジョンがくるのでしょうか。少し分かりにくいと思えます。
- ・また「Ⅱ人口の将来展望」は、「目指すべき将来の方向性や施策の方向性を踏まえた人口の将来展望」とありますので、総合戦略が先に確定すると、流れからしても少し違ってしまふのかと思えます。

(事務局)

- ・「Ⅰ人口の現状分析」というのはあくまでも現状分析であり、それはある程度確定しますが、「Ⅱ人口の将来展望」は総合戦略とは一緒になっている部分でございます。Ⅰを確定させ、Ⅱと総合戦略を一緒に検討する、という具合に考えているところです。

	<p>(内田奈委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あくまでも数字を出してということですね。 <p>(内田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・差し支えなければ次回の時に具体的なかたちで進めたいと思います。よろしいでしょうか。本日はこれにて終了させていただきます。
6 閉会	青木課長
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>平成27年 7月 24日 署名委員 <u>根岸 福壽</u></p> <p>平成27年 7月 24日 署名委員 <u>小林 荘治</u></p>	